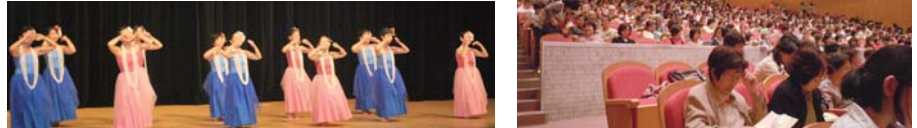


## 第48回埼玉県消費者大会

### 第48回埼玉県消費者大会 持続可能な社会に向けて再生エネルギーや 市民の役割について考えました

Top News 10/12

「つながろう ふみだそう 持続可能な社会に向けて」を大会スローガンに、27消費者団体による実行委員会が開催し、約750人が参加しました。オープニングでは「新日本婦人の会フラダンスサークル」の皆様による、手話を交えての「涙 そうそう」等のフラダンスが披露されました。来賓として上田清司埼玉県知事のあいさつ、記念講演では、NPO法人気候ネットワークの浅岡美恵代表が「私たちが選ぶ日本のエネルギー」と題し、「3月11日の東京電力福島第一原発事故から、温暖化を防止し持続可能な社会経済への転換に向けて粘り強く行動していきましょう」と話されました。午後5時の分科会には437人が参加し、テーマごとに学習・交流しました。



### 10/8 福島第一原発事故から原発とは共生できないことを学びました

さいたま市文化センター大ホールで開催され約2,800人が参加しました。肥田舜太郎氏(ビデオレター)、井戸川克隆双葉町長、ルポライターの鎌田 慧氏による講演後、埼玉合唱団より平和の歌声が披露されました。次に、9団体より地域の取り組み報告がされ、最後に、「省エネルギーを進め、地産地消によるさまざまな再生エネルギーへの転換を求める」決議を採択し、閉会しました。



### 11/20 平成24年度埼玉県消費生活功労者表彰 会員生協の2生協2人の方が受賞



消費生活への貢献が認められ上田県知事と記念撮影

消費者団体・生協役員を含む15人の受賞者の表彰式が埼玉県知事公館で行われました。県域団体・地域団体・生協を代表して3人の方が上田県知事より表彰状を授与されました。上田県知事は、「日頃からの消費者行政への協力への感謝と今後も質の高い消費者行政を目指しますのでお力添えを」とあいさつされ、受賞者を代表して、めぬまぐらしの会の石田会長が謝辞を述べました。

### 11月17~18日 いま、「協同」が創る2012全国集会 地域に根差し人と人がつながる協同組合の意義や役割を共有

協同労働に取り組む日本労働者協同組合(ワーカーズコップ)連合会を中心にJA埼玉県中央会、埼玉県内生協(さいたまコップ・生活クラブ生協・さいたま高齢協・埼玉県生協連他)など協同組合、市民団体・個人が実行委員会を構成し、大宮ソニックシティ大ホール他で開催し、延べ約2,800人が参加しました。17日の全体会では記念講演やパネルディスカッション、18日は分科会を行いました。



Drナゲレンジャーによる防災科学実験ショー

### 11月17~18日 協同組合フェスティバル 協同組合の良さを多くの方にアピール

JA全中や日本生協連など協同組合組織で構成する2012国際協同組合年全国実行委員会が主催し、大宮ソニックシティ第1展示室と小ホールで開催され、延べ3,000人が参加しました。農産品、加工品の販売や試食、協同組合を知ってもらうためのクイズやパネル展示が行われました。県内生協からは、さいたまコップ、バルシステム埼玉、生活クラブ生協、医療生協さいたまが参加しました。



講師の松苗弁護士

### 11/27 適格消費者団体NPO法人埼玉消費者被害をなくす会 特定商取引法に追加された「押し買い」に対する規制について学びました

法律を学ぼう!特定商取引法「強引に買い取られた着物、貴金属 返してもらえる?!」をテーマに、弁護士の松苗弘幸氏を講師に学習しました。特定商取引法に訪問購入(買取)が追加された理由や被害事例、規制として事業者にはクーリング・オフに関する事項の書面の交付の義務があること等、高齢者被害を防止するための重要な規定であることについて学びました。

### さいたまコップ

#### コップ春日部店(春日部市)が売り場を拡大し、リニューアルオープンしました

10月25日、コップ春日部店が、売り場面積を約1.5倍の629坪に拡大しリニューアルオープンしました。「毎日の食品からハレの日にも対応した品揃え」をコンセプトに、出来立ての惣菜やサラダステーションに加え、おかずバイキングやレンジアップ(電子レンジ加熱専用)商品、簡便ワンクック商品、冷凍惣菜惣菜コーナー新設をはじめ、生鮮品や日配品、惣菜の品揃えを充実しました。省エネ設備の導入などで使用電力を削減するほか、屋上に太陽光パネルを設置し、店舗での電力使用量の10%を賄います。

### バルシステム埼玉

#### 青空市を開催しました!

バルシステム埼玉は、組合員や近隣の皆様へ日頃の感謝を込めて、10月6日から11月24日にかけて、大宮、東松山、蕨、白岡、川越、三芳、草加、入間の全配送センターで青空市を開催し、約3,500人が来場しました。産直青果の販売を中心に、PB商品の試食・試飲の他、配送体験コーナー、豚汁の販売、おにぎり作り、バルアート、バスボム作りなど、センターごとに工夫をこらした企画を用意。各会場とも家族連れなどで賑わいました。来場された方からは「楽しいイベントでした」、「毎年開催してください」といった感想が聞かれました。

### 生活クラブ生協

#### 水のトラストしよっ!

日本の森林は、それ自身が貴重な資源であり、豊かな水資源、CO2吸収源、そして生物多様性の観点からも期待されていますが、世界経済が低迷している中、資本の流れる先として日本の森が買われています。生活クラブ埼玉では、埼玉の水源地である秩父の森周辺を含む荒川源流域を守る活動として、(財)埼玉県生態系保護協会と連携し、トラスト(お金を集めて守りたいところを買い取ること)に取り組んでいます。11月3日にはトラスト地の見学会を実施し、美しい秩父の自然に触れ、森を守る大切さを学んできました。

### 医療生協さいたま

#### 被災地支援「秋の集い」(宮城県山元町)に参加

11月10日(土)、宮城県山元町で行われた「被災地支援「秋の集い」」に、医療生協さいたまからの6人(組合員2人、職員4人)を含む7法人41人がボランティアで参加しました。被災者の参加は、7月の「夏のつどい」を大きく超える約400人で、模擬店や出し物などで楽しく一日をすごしていただきました。この集いは、地震と津波で移転や仮設住宅を余儀なくされた方々が顔を合わせるコミュニティ再興の機会にもなっています。

## 広がる県内生協の多彩な活動・交流

### コップネット事業連合

#### 九州北部豪雨被災の生産者に募金を贈呈

昨年7月の九州北部豪雨により被災した産直産地、JAふくおか八女の生産者に、「九州北部豪雨募金」としてコップネットグループの組合員からお預かりした募金の中から805万1,272円をお贈りしました。豪雨によって特産「八女茶」の茶畑やみかん畑が土砂に埋まり、いちごのビニールハウスが見えなくなるなど大きな被害に見舞われました。JAふくおか八女は、毎年組合員・役員が訪問して生産者と交流を深めてきたつながりの強い産地であることから、今回の募金贈呈となりました。

### 跡見学園女子大生協

#### 「メイク講座」を開催しました

まもなく就職活動が本番となる11月8日、3年生以上が通う文京キャンパスにて、Co-op Girls(生協学生委員会)主催で「メイク講座」を開催し、定員20名がほぼ満員になりました。テーマは「大人の女性になるう」。就職活動を前に、大人らしさを感じるメイクの基本を学ぼうという主旨です。就職写真撮影では、お取引先様のヘアメイクさんと、参加者から募ったモデルさんをみんなで囲み、基礎化粧品やファンデーションの正しい使い方などを学びました。

### 十文字学園生協

#### 「食生活相談会 ～体内健康美女 10年先も美しく～」を開催

12月3日に「食生活相談会 ～体内健康美女 10年先も美しく～」を開催しました。管理栄養士による食生活相談、生協学生委員会による体内スキャン、肌水分チェックと合わせて、今年は医療生協さいたまのご協力をいただき骨密度検査、血管年齢検査も行いました。大学昼休みの開催でしたが40名の参加があり、食生活相談コーナーでは身近での食事内容から「野菜が少ない」等のアドバイスを受けていました。血管年齢検査では実年齢との差に一喜一憂していました。